

●猛烈な寒波 大雪に見舞われる 木津川マラソン会場や南駐車場・東駐車場の草刈りを実施

いよいよ松の内も明けて本格的な取り組みが開始されました。第34回木津川マラソン大会まで残すところ17日となり、諸準備がクライマックスに差し掛かりました。里山の会は選手輸送や歓迎、コース準備や点検エイドや給水などを担当し、8部門に責任をもって準備に取り組んでいます。その中でも本部会場や駐車場の整地は、どこよりも早く進めなければならぬ。時期から見ても非常に重要な作業となっています。14日には本部会場の草刈りを実施しました。会場の西面には竹藪があって、その際には常に不法投棄がなされ、また竹の切り出しがされて、その残りがすさや小枝が広く散乱していて、整理整頓のための草刈りに大きな障害になっているのです。今年は大根が山積みで放棄された、小茄子がドント放置され、庭木の剪定物などこれまでになかった農産物が目立ちました。もちろん竹や笹などはいつも通りで、草刈りの前作業として片付けに3時間が必要でした。集積した放棄物の処分にも人手がかかりますね。本当にひどいものです。竹藪際が片付いたので、東部分の草刈りに取り掛かった折にピンが飛んで自走できなくなり、約2時間作業ができませんでした。一人では回収できず、小川さんなどの応援を受けて14時ごろに再開できました。このころから北風がどんどん強くなって朝から片付けた10mもある竹がグラウンドの端まで50m以上吹き飛ばされていきます。ものすごい風で、それが非常に冷たく大変でした。15時頃には、この風がさらに強くなって、手の指先の感覚がなくなってしまいました。とにかく完了するまではと、寒さをこらえて作業を継続しました。暗くなる18時ごろに何とか刈り取ることができました。翌朝は南駐車場を刈り取る予定でしたが、昨夜の雪が積もって草刈りなど不可能でした。11時ごろには降り続いていた雪も小降りになり、太陽も少し顔を出すこともあって作業を開始しました。南駐車場は南北に約200m以上あり幅は平均35mあります。一往復に16分かかります。刈取り幅80cmです。単純計算で22往復ですから6時間位かかることになります。前日と同様に北の風が強く手足が昨日以上に冷たく手袋二枚をしていて、草刈ガソリンエンジンのマフラーをつかんでも全く回復しません。昨日以上に冷たい一日で、厳しい作業となりました。夕方15時30分によろしく完了できました。慌てて風呂で温まろうとしましたが、体の芯まで冷え切った体は戻りませんでした。就寝する時も寝つけませんでした。年齢を重ねると、こういう風になってくるのかと体力の限界を感じました。三日目の月曜日は東駐車場を予定していました。ここは朝日が射しにくく、強烈な寒さの二日間に懲りているので、10時に出かけました。それでも北風が強烈に吹き抜けていきます。そしてハンマモアーが引き起こす風によって積って乾いたヘドロの粉塵が舞い上がり目を開けておられない中でのほこりまみれの作業です。斜面もきつく思うように操作ができず困難の連続となります。ここは焼肉に使った大きな石や金網や、鉢や団扇が草の中に埋もれています。これを片付けるのにも時間がかかります。やっと難所を乗り越えたのが昼過ぎで、2時間の大苦戦となりました。平地のところはスピードが上がり、順調です。それでも風は止まず震えあがっていました。16時過ぎに完了できてほっとしました。まさに風と寒さと埃りとの大格闘の三日間でした。

●第34回京都木津川マラソン更衣室のテント囲いの資材 竹の切り出し 17日 7人で実施

250本強切り出す。火曜日にはかねて予定していた更衣室テントの囲い幕を張る骨格とする竹250本の切り出しの予定です。集合していただいたのは深田さん大村さん有田さん澤江さん芳川さん吉村さん森島さんの7人が頑張ってくださいました。かき集めた笹や竹の不要部分を集積し、積み上げると直径10m以上で高さ1.3mを超える広く大きな高さになりました。昼食もそこそこに寒さも厳しいので急いで作業に挑んでいただき、15時に250本となり整理整頓もできたので打ち止めとしました。曇り空で寒い中よく頑張ってくださいました。本当にお骨折りいただきありがとうございました。

●18日の里山農園の運営について議論伯仲

23日に相談会開催を計画 里山農園は、元京都府の農業試験場が長年放棄されていたので、NPO里山の会が市民農園として開放されないのか、あるいは使用がないならば借用させてくれないかと申し入れたところ、NPOには借用させる手続きがないと断られたので、その代償として、少し交通の便が悪いのですが、大村氏の提供を受けて里山農園として使用させていただきました。いろいろ困難を乗り越えて、今日に到達できました。その結果自然環境が残され貴重植物や生物の豊富さが抜群であること、そして里山農園として野菜の栽培にも取り組み、イノシシ防御柵の設置、教育棟の建設・観察台の設置ができ、炭焼窯に屋根の設置も進みました。今では、随分と充実した施設を持つに至っています。その後約10年間の経過を歩みました。会員の多くが高齢化し、体力の退化も見られ、農園栽培にかなりの影響がみられるようになりました。こうした背景の下で、いかに里山農園の運営を図るのが課題になってきました。現状に立って相談を行うことにしています。心ある皆さんのご参加が見られればありがたいです。23日午後1時から3時まで、里山の会事務所にお越しください。どなたでも大歓迎です。

●第34回京都木津川マラソンの里山の会の受け持ち体制が整う。総勢51人です。手原川エイド、ゴールの給水、飴湯の接待、会場暖房、選手輸送、駐車場の提供、コースの安全対策と点検などを分担受け持ちとしています。昨年は重複を避けて純粹体制が36人でしたが、今年は51人と大幅に充実することになりました。それでも暖房係で2名の不足となっています。34回大会は5999人の参加を受け付けて、これまでにない大きな規模になっています。ボランティアの不足はまだまだありますので、積極的に申し出ていただければありがたいです。

●カスミサンショウウオ調査会 22日午前10時より12時で解散とします。京都府に登録されている「絶滅の恐れのある生き物」25種のうちにフナバラソウ、レンリソウと並んでカスミサンショウウオが里山の会からの申請によって登録されています。里山の会ではこれら3種の保護について指定を受けています。昨年3月に10年ぶりにカスミサンショウウオの卵囊が発見されて、今年はなんとしても成体の発見を行いたいものと張り切っています。今回は京都大学の小林君や福山君、そして滋賀県立大学の北野君。京都学園大学の中栄君などが調査に当たってくれます。ご希望される場合時間厳守で里山農園にお越しください。即現地に移動いたします。

●木津川沿川活動団体交流会 22日午後1時から 近年木津川本流での魚影が徐々に少なくなっているように見受けられます。こうした状況について学習しようと計画しました。関心をお持ちの皆さんのご参加をお待ちしています。自由討議発言の時間も用意されておりますので、積極的なご意見をお待ちしています。

●木津川の伐採竹笹の処分作業 23日午前10時開始 集合ください 本部会場約30分間 出来れば薪の運搬も同時実行 作業にご協力いただける皆さんのご参加をお願いいたします。

●七草摘みと七草かゆの取組みがNHK(大阪放送局)で放映されました。宇治の蔵さんが撮影され、応募された作品が大阪放送局から16日の午後6時30分ごろに放送されました。子どもたちが刻み七草かゆを試食するところが3分間程の放映だったとの連絡が枚方市の福山さんから届きました。大阪扱いということは全関西に流れたということで、大変大きな扱いがされました。私たちの取組みが多くの皆さんに心温まる番組として届けられました。18日の事務局会でうれしいニュースとなり、みんな元気になりました。かかわっていただきました皆さん有難うございました。ご友人や知人のお方でご覧になっておられましたら、感想などを聞いて届けてください。